

事 務 連 絡

令和6年6月17日

健康保険組合 御中

厚生労働省保険局保険課

「健康スコアリングレポート等を活用したコラボヘルスを推進するための研修事業」の実施について

健康保険制度の円滑な実施について、平素から格段のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、令和6年3月14日付「2024年度健康スコアリングレポートの実施方針」(別添1)に記載のとおり、コラボヘルスを推進するための研修事業を実施いたします。

下記をご参照の上、研修事業への参加をお願いするとともに、本研修事業が健康保険組合と事業主の予防・健康づくりに係るコラボヘルス推進の一助になれば幸いです。

記

1. 研修目的

コラボヘルスを推進するにあたり、健康課題の解決に向けた対策の立案・実行に係るノウハウが不足している等の課題に対して、コラボヘルスガイドラインや健康スコアリングレポート等を活用して、事業主と健康課題を共有し、保健事業を実行するまでのノウハウを取得いただくことを目的としています。

2. 研修概要

(1) 推奨する参加対象者

コラボヘルスに取り組めていない、または取り組もうとしている健康保険組合

※常務理事、事務長、担当者等、コラボヘルスによる保険事業を推進する立場にある職員の出席を推奨します。(1組合2～3名を想定)

※事業主側の参加も積極的にお待ちしております。

(2) 開催日程

7/23 (火)、7/25 (木)、7/30 (火)、8/1 (木)、8/6 (火)、8/7 (水)、8/13 (火)、8/16 (金)、8/21 (水)、8/22 (木)、8/27 (火)、8/30 (金) の各日程の午前 (9:30～11:30)・午後 (14:00～16:00) 計 24 回の中からいずれか 1 回に参加

※参加可能な日程を第三希望まで回答いただき、研修事務局にて調整のうえ参加日程を決定します。

(3) 開催方法

オンライン (Zoom もしくは Teams) またはオフライン (東京を予定)

(4) 申込方法

下記 URL よりお申し込みください。

URL : <https://forms.office.com/r/bBxVZASAea>

申込期限 : 7月1日(月)まで

※確定の参加日時は7月8日(月)～7月19日(金)に研修事務局より連絡します。

(5) 主催

厚生労働省

3. その他

- ・研修受講料は無料です。当日の研修アジェンダや持参物等は別添2を参照してください。
- ・オンラインの場合、ワークに取り組んでいただく都合上、カメラをONにしてご参加いただくようお願いいたします。
- ・オフライン開催で参加希望とご回答いただいた場合でも、会場都合によりオンライン参加とさせていただく可能性もございます。また、会場までの交通費等は自己負担とさせていただきますのでご了承ください。
- ・オンライン研修の録画、配布、二次利用は禁止とさせていただきます。
- ・健康保険組合連合会においても都道府県連合会(4連合会主催)によるコラボヘルスをテーマとしたデータヘルス研修会の開催を予定しており、両方の研修に参加することでコラボヘルスについて多面的に学ぶことができます。

以上

<照会先>

研修事務局(株式会社大和総研)

E-mail : kenko-scoring2024-info@dir.co.jp

2024 年度健康スコアリングレポートの実施方針

2024 年 3 月 14 日

2024 年度における健康スコアリングレポートについては、2023 年度の効果検証アンケート及び健康保険組合・企業ヒアリングにて確認された課題と対策を評価軸に沿って整理し、2023 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループにおいて議論された内容を踏まえ、以下の方針で実施することとする。

(1) 対策の評価軸について

健康スコアリングレポート固有の価値や、2022 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループで定めた中長期方針（※）に基づき、取るべき対策の評価軸を定める。

評価軸 1 健康スコアリングレポートはコラボヘルスが進んでいない層をメインターゲットにしたアップデートや取組を優先する。

評価軸 2 健康スコアリングレポート固有の価値をより高めるためのアップデートや取組を優先する。

（※）コラボヘルスが進んでいない層の底上げに取り組むとともに、コラボヘルスが進んでいる層のニーズにも応えていく。

(2) コラボヘルスが進んでいない層の保険者への対策

- コラボヘルスを推進するための研修事業の実施（評価軸 1）

健康課題の解決に向けた対策の立案・実行に係るノウハウを持っていないなどのコラボヘルスが進んでいない層の保険者が抱える課題に対して、事業主と健康課題を共有し、保健事業を実行するまでのノウハウを提供する。

- コラボヘルス推進の効果検証（評価軸 2）

コラボヘルスの費用対効果が不明などのコラボヘルスが進んでいない層の保険者が抱える課題に対して、コラボヘルスの実施が保健事業の実行環境に与える影響の定量分析などを行い、事業主へのコラボヘルス実施に係る訴求力を高めるための情報提供をする。

(3) コラボヘルスが進んでいる層の保険者への対策

• 健康スコアリングシステムの改修（評価軸2）

■事業主単位レポートへの医療費関連情報の追加

- レポートの訴求力向上への対策として、保険者単位レポートと同様の医療費関連情報を追加する。

■事業主単位レポートの基準人数引き下げ

- レポートが作成されない事業主への対策として、被保険者数50名未満の事業所にもレポート出力が可能となるよう、事業主単位レポートを改修する。なお、保険者向けアンケート及びヒアリングの結果と健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループでの検討の結果、下限人数は10名とする。

■健康スコアリングレポートのローデータの提供

- レポートの訴求力向上への対策として、健康スコアリングレポートのローデータをレポートと合わせてデータヘルスポータルサイトに格納する。

以上

「健康スコアリングレポート等を活用したコラボヘルスを推進する
ための研修事業」研修内容について

1. 研修アジェンダ

No	項目	内容
1	イントロダクション	当研修についての説明
2	導入ワークショップ	現状課題の整理と研修ゴールの確認
3	「コラボヘルス」と「健康経営」	基礎知識の再確認
4	申込時アンケート結果振り返り	コラボヘルス推進の阻害要因認識
5	コラボヘルス推進とは	標準的な推進イメージの再確認
6	健康スコアリングレポートの活用 ワークショップ	健康スコアリングレポート活用状況の 確認・活用方法の再確認
7	好事例のご紹介	具体的な取り組みのイメージ・ノウハ ウ取得
8	クロージング	研修理解度の確認

※研修内容は変更となる場合もございますのでご了承ください。

※休憩含め計 130 分（予定）

2. 持ち物

- ・ ワークシート（別紙） ※後日配布いたします。印刷の上ご用意をお願いします。